

製品名: 線維芽細胞活性化タンパク質、 α ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86860**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、 -20°C で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:200
分子量	Calculated MW:88 kDa; Observed MW:97 kDa

抗原情報

遺伝子名	Fibroblast activation protein,alpha
別名	FAPA; SIMP; DPPIV; FAPalpha
遺伝子ID	2191
SwissProt ID	Q12884
免疫原	ヒト線維芽細胞活性化タンパク質 α の組み換えタンパク質

背景

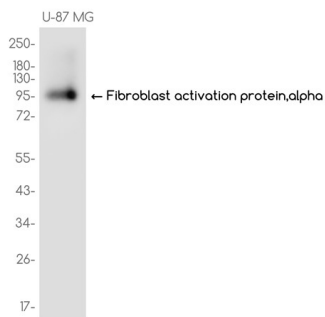
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、セリンプロテアーゼファミリーに属するホモ二量体膜内在性ゼラチナーゼです。上

皮膚の反応性間質線維芽細胞、治癒過程の創傷肉芽組織、および骨軟部肉腫の悪性細胞において選択的に発現します。このタンパク質は、発生、組織修復、そして上皮癌の発生過程における線維芽細胞の増殖または上皮-間葉系相互作用の制御に関与していると考えられています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが見つかっています。
[RefSeq 提供、2014年4月]

研究分野

-

画像データ



線維芽細胞活性化タンパク質、αウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した U-87 MG 細胞抽出物のウエスタン プロット分析。